

過疎地版MaaS推進プロジェクト(関東全域)

事業実施主体

【共創プラットフォーム】

過疎地版MaaS推進プロジェクト

【実施主体】株式会社パブリックテクノロジーズ

【共創パートナー】 東京大学公共政策大学院鈴木寛研究室
茨城県行方市
株式会社しんめ

地域課題

過疎地域の公共交通の課題は深刻であり、社会活動の維持が困難になることが懸念される。そのため、新しい移動の形である「過疎地版MaaS」について早急に議論し、実践すべきである。また、過疎地の課題を1つの自治体が抱えるのではなく、同様の課題を抱える自治体と連携したり、未来を担う若者と意見を交換したりしながら、社会全体で課題に向き合うことが必要である。

実証事業の内容

(1)学術機関・大学生との連携

① 東京大学公共政策大学院・鈴木寛教授の研究室に所属する学生を中心に過疎地版MaaSに関するプログラムおよびフィールドワークを実施

② 「交通×○○」共創アイデアワークショップの開催

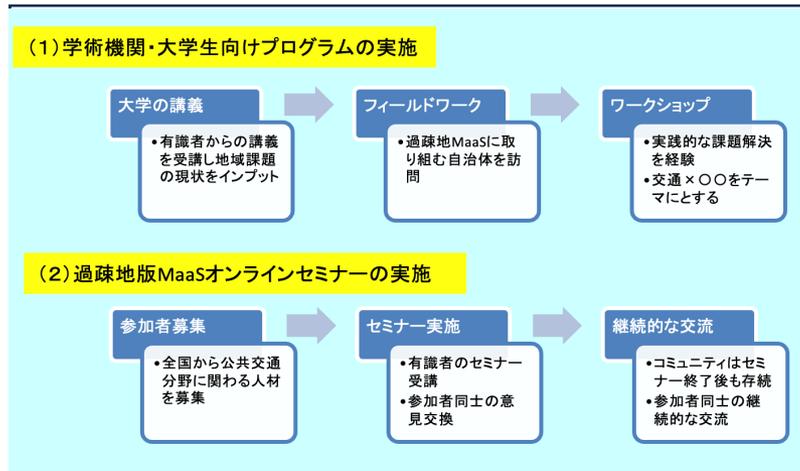
(2)過疎地版MaaSコミュニティの形成

① オンラインセミナーの開催

今後の展開

補助事業実施後は、ワークショップで出た「共創×○○」の実装に取り組む。また、「過疎地版MaaSコミュニティ」は補助事業実施後も継続して運営をする。

事業実施地域・手順



事業スケジュール

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学術機関・大学生向けプログラム フィールドワーク			→			
ワークショップ			→			
過疎地MaaSコミュニティ オンラインセミナー			→			